

令和8年度 予算に対する

各党派の見解

中野の未来を拓く区政の実現を!

立憲・国民・ネット・無所属議員団

令和8年度の一般会計歳入歳出予算は2126億9400万円と、前年度に比べ9.1%の増となった。歳入は、基幹収入である特別区税と特別区交付金が過去最高を更新するなど堅調に推移している。しかし、中東情勢の緊迫化や国庫支出金の割り落とし、国の不合理な税制改正による影響などの財政リスクを十分に想定した行政運営を求め。歳出では、中野駅周辺まちづくりに関して、年内に中野駅西口が開業するなど駅周辺の基盤整備が着々と進む中、拠点施設整備の遅れで区民便益の損失が長期にわたる続くことはあってはならない。スピード感のある着実な推進を求める。また、区立学校の

将来世代への責任を果たせ

自由民主党議員団

令和8年度予算は、区民サービスに直結する経常経費、いわゆる一般事業費は52億円も急増し、351億円に達しました。これは財政規律の防衛ラインを、悪い意味で「限界突破」した異常事態です。また、現行基本計画の成果指標達成率がわずか16.9%という惨憺たる結果に終わっている事実にもしっかりと目を向けなければなりません。新規・拡充事業が次々と打ち出される一方で、成果が上がっていない既存事業の廃止・縮小、いわゆる「スクラップ」が全く機能していません。また、建築後80年の長寿命化を掲げましたが、その実態は増大する経常経費を工面するために「今」の支出を抑え、現在の

区民生活を守る持続可能な区政運営を

公明党議員団

令和8年度一般会計予算は過去最大規模となり、社会保障費や投資的経費の増加が続く中、持続可能な区政運営は経常経費削減が不可欠で、徹底されてこなかった予算編成方針の遵守を求めます。歳入では国庫補助金は大幅減が続き、来年度も減額が見込まれ、都交付金も不透明です。為替や物価高騰、税制改正等の動きを注視し、一般財源への影響回避が必要です。財政運営では基金と起債のバランスも再検討し、金利動向を踏まえリスクの最小化と資産活用の最大化を図るべきです。一方歳出は、会派で求めてきた防犯機器補助の継続・拡充、学用品費・修学旅行費等の無償化、小1の壁解消に向けた

誰一人取り残さない区政の実現を

日本共産党議員団

新年度は、区立学校の教材費・修学旅行・移動教室費の無償化、給付型奨学金事業の募集開始、学習支援事業の対象拡大、障害者福祉手当や難病患者福祉手当の拡充、5歳児健診の試行実施、歯科健診の対象年齢拡充など、住民の切実な願いにこたえるものが多く盛り込まれました。会派として長年求めてきた、エアコン購入費助成や気候危機対策でも前進が図られます。ミドルシングルの実態把握・若者実態調査などに踏み出すことや、公契約条例に基づき、委託や会計年度任用職員の給与が引き上げられることも重要です。2026年度の一般会計予算は2126億9400万円と、過去最大の予

都民ファーストの観点での予算執行を

都民ファーストの会中野区議団

令和8年度中野区一般会計予算の一般会計総額は2126億9400万円であり、前年度比17.6億9800万円、9.1%の増となっています。現在、中野区は「100年に一度」とも称される大規模な街づくりが中野駅や西武新宿線沿線等で進められ、まさに歴史的な転換点を迎えています。今回の予算案には、こうした都市基盤の整備のみならず、長引く物価高騰への対応、産後ケアの拡充、さらには教材費や修学旅行費の負担軽減等、子育て世代をはじめとする区民生活の不安を払拭し、安心を支えようとする区の強い意志が反映されていると評価いたします。都支出金は217億3674

区議会だよりへのご意見、ご感想、ご要望などありましたら、今後の参考にさせていただきますので、郵送・電話・FAX・Eメールなどでお気軽に区議会事務局までご連絡ください。



〒164-8501 中野区中野4-11-19
電話 03-3228-5585
FAX 03-3228-5693
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp